

中世の鎌倉街道と宿の役割

～街道を行き交う人々～

講師
東京大学名誉教授 えばら まさはる 榎原雅治



▲鎌倉街道 B 遺跡 掘割の道 (画像提供 毛呂山町歴史民俗資料館)



日高市にあったとされる、鎌倉街道「女影(おなかげ)の宿」想像図

2024年 3月 23日 土
13:30 ~ 16:30

会場
日高市総合福祉センター「高麗の郷」
1F研修室

新型コロナウイルス感染
予防にご協力ください。

- 13:00 受付
- 13:30 開会 主催者あいさつ
- 13:45 解説 「国史跡：鎌倉街道上道と宿などの遺跡群について」
佐藤春生 (毛呂山町歴史民俗資料館副館長)
- 14:00 講演 「鎌倉街道上道と宿」
講師 榎原雅治 (東京大学名誉教授)
- 15:30 休憩
- 15:40 トークセッション「中世の鎌倉街道と宿の役割 その実態を語る」
講師 榎原雅治 コーディネーター 新井孝重 (獨協大学名誉教授)
コメンター 佐藤春生
- 16:30 閉会

- 定員 100名 (申し込み先着順)
- 参加費 (資料代等) 高麗1300会員 500円 一般1,000円
- 申込み 2月8日(木)10:00より高麗1300へ次の①～④のいずれかで。先着順に受け付けます(お名前・連絡先・住所等)。
① ホームページ <http://komagun.jp> トピックス記事「申込みフォーム」から
② E-mail info@komagun.jp
③ 電話 042-978-7432 (不在の場合あり)
④ FAX 042-978-7452

主催：高麗1300 / 日本高麗浪漫学会 後援：日高市教育委員会
企画：日本高麗浪漫学会企画運営委員会 協力：毛呂山町歴史民俗資料館

鎌倉街道について

国指定史跡 毛呂山町の「鎌倉街道上道」

鎌倉街道は、鎌倉時代に、幕府が置かれた鎌倉と関東の諸国や信濃、越後、陸奥方面を結んだ主要幹線道路です。関東地方には「上道（かみつみち）」「中道（なかつみち）」「下道（しもつみち）」の3つの古道が知られています。このうち、日高市・毛呂山町を通る街道は、上野国（現在の群馬県）を抜け、信濃国（現在の長野県）に至る「上道」です。

毛呂山町の鎌倉街道上道は、中世の街道・宿・寺院・塚の遺跡群の、4つの一体的な空間が良く保存されていたため、令和4年11月に国の史跡に指定されました。日高市にも女影宿があったとされています。

▶延慶3年（1310）建立の「延慶の板碑」。鎌倉街道周辺や、毛呂山町歴史民俗資料館のある大類地区には、このような大型の板碑が多く伝わる（画像提供 毛呂山町歴史民俗資料館）



講師 **榎原雅治**（えばらまさはる）



1957年岡山県生まれ。1983年東京大学史料編纂所助手。助教授、教授、所長を経て2023年退職。現在東京大学名誉教授。専門：日本中世史。主な著書：『日本中世地域社会の構造』『中世の東海道をゆく』『室町幕府と地方の社会』『地図で考える中世 交通と社会』

講師よりメッセージ

講演「鎌倉街道上道と宿」について

中世の時代、日高市内を鎌倉や信濃へと通じる大道（鎌倉街道上道）が走っていました。女影には宿場も設けられていたと考えられます。中世の大道をどんな人が旅していたのでしょうか。江戸時代以前の宿場はどのくらいの大きさで、どのような建物が建てられていたのでしょうか。中世の古文書や紀行文だけでなく、伝承や現在も市内に残るさまざまな中世の遺構・地名なども参照しながら、そうしたことを考えてみたいと思います。また鎌倉街道だけでなく、広く中世の紀行文を読んで、現在とは大きく異なる中世日本の風景を想像してみたいと思います。

【会場までの交通案内】

日高市総合福祉センター「高麗の郷」

埼玉県日高市榎木（にれぎ）201 ☎042-985-9988

- ・JR八高線 川越線 高麗川駅より徒歩約15分
- ・高麗川駅から国際興業バス「飯能駅行」に乗車、「総合福祉センター前」下車
- ・お車の場合、無料駐車場あり
※臨時駐車場をご利用いただく場合があります



【お問い合わせ】 高麗1300 (日本高麗浪漫学会) 事務局 ☎042-978-7432

〒350-1243 埼玉県日高市新堀 855-3

E-mail info@komagun.jp

ホームページ <http://komagun.jp>